令和６年度第１回安城市総合計画審議会　議事（要旨）

<table>
<tr><td>日　時</td><td colspan="2">令和６年７月２日（火）　午後３時３０分～５時</td></tr>
<tr><td>場　所</td><td colspan="2">安城市役所　本庁舎３階　第１０会議室</td></tr>
<tr><td rowspan="2">出席者</td><td>委　員</td><td>太田良子委員、近藤裕己委員、酒井麻利子委員、筒井広治委員、都築豊彦委員、寺田覚委員、戸田こず恵委員、富田清治委員、鳥居卓司委員、鳥居将成委員、久恒美香委員、松井恵子委員、宮下晴美委員、安田孝美委員、山本道生委員
（WEB 出席）
柴田知幸委員</td></tr>
<tr><td>事務局</td><td>市長、副市長、教育長、企画部長、行革・政策監、
関係部次長、企画政策課長、企画政策課長補佐、企画政策課職員</td></tr>
<tr><td>次　第</td><td colspan="2">１　市民憲章唱和
２　市長あいさつ
３　議題
（１）第８次安城市総合計画及び第２期安城市まち・ひと・しごと創生総合戦略の最終実績について
（２）デジタル田園都市国家構想交付金に係る令和５年度実績について
４　その他
（１）市民アンケート調査の結果について
（２）安城市子育て応援サポートブックについて</td></tr>
</table>

１　市民憲章唱和

２　市長あいさつ

皆様、こんにちは。本日は、ご多用の中、安城市総合計画審議会にご出席をいただきまして、誠にありがとうございます。

安城市総合計画審議会は、総合計画に関する事項の調査審議を担任事務として、計画の進捗管理やその策定、改定について、毎回活発なご審議をいただいております。昨年度までご審議いただいた第９次安城市総合計画については、市議会３月定例会にてご承認いただき、４月から無事にスタートさせることができました。多くの委員の皆様方におかれましては、昨年度まで総合計画の策定に携わっていただきまして誠にありがとうございました。

第９次安城市総合計画では、「ともに育み、未来を創る　幸せ共創都市　安城」を目指す都市像として掲げ、地域の宝であるこどもたちを社会全体で育てていく「こどもを核としたまちづくり」を進めることとしています。

また、この取組を広くアピールすべく、「安城こどもＢＯＯＳＴＥＲＳ」と題したキャッ

チコピーを定め、様々な子育て支援施策の実施と並行して、本市の取組をＰＲしてまいります。

「ＢＯＯＳＴＥＲ」とは応援する人、押し上げる人という意味です。地域全体で子どもを育む機運を高め、誰もが将来への希望を持つことができるようなまちづくりを進めるため、委員の皆様におかれましては、「ＢＯＯＳＴＥＲＳ」の一員として、引き続き市政へのご協力をお願いいたします。

さて、本日の議題は、昨年度末で終了した第８次安城市総合計画及び第２期安城市まち・ひと・しごと創生総合戦略の最終実績等についてご審議いただきます。第８次安城市総合計画については、「ケンサチ」をキーワードに「市民一人ひとりが生活の豊かさとともに幸せを実感できるまち」を基本理念として取り組んでまいりました。今回は計画年度が昨年度で終了したことから、最終実績についてご報告いたします。

本日も委員の皆様の様々なご見識からご意見を賜りますようお願い申し上げまして、私からのあいさつとさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

３　議題

【司会】

それではこれより議事に入ります。ここからは寺田会長に議事の取り回しをお願いいたします。

【寺田覚会長】

みなさん、こんにちは。会長の寺田です。本日も円滑な議事運営にご協力をお願いします。

議題（１）第８次安城市総合計画及び第２期安城市まち・ひと・しごと創生総合戦略の最終実績について

【寺田覚会長】

議題（１）第８次安城市総合計画及び第２期安城市まち・ひと・しごと創生総合戦略の最終実績について、事務局より説明をお願いします。

（事務局説明）

【寺田覚会長】

ありがとうございました。

ただいま事務局より議題（１）第８次安城市総合計画及び第２期安城市まち・ひと・しごと創生総合戦略の最終実績について説明がありましたが、ご意見、ご質問等ございましたらお願いします。

【都築豊彦委員】

通し番号８番の「１人１日あたりのごみ排出量」の指標について、２点お伺いいたします。２０１８年度の策定時における値が９１５グラムで、４年後にあたる２０２２年度は９０２グラムとなっており、あまり極端な下がり方はしていないのですが、２０２３年度には２０２２年度からマイナス３９グラムとなる８６３グラムと急激な下がり幅となっています。この状況について、何か特殊要因があるのかどうかということを教えていただきたいのがまず一つ目です。もう一つは、第９次総合計画における目標数値が８７４グラムという数値になっており、既に２０２３年度の段階で、２０３１年度の目標数値をクリアしている状況にあります。そこで今後８年間について、この排出量について市民に対してどのような周知あるいはＰＲ等の取組をされていくのか、お考えを伺いたいと思います。

また、通し番号１１番の「適切に管理されてない戸建て住宅の空き家件数」指標についても１点お伺いいたします。２０２３年度の実績が６６件ということですが、これは策定時の１６０件に対して６６件に減りましたという数値だと思います。一方、第９次総合計画に掲載された同様の指標について２０２２年度把握数が１３３件、第８次総合計画の進捗における２０２２年度実績では７８件ということで、５５件の差があります。これは第９次総合計画における１３３件というのは、２０２２年度に再度、空き家の件数の調査をした結果、１３３件把握されたということでよろしいでしょうか。

【環境部長】

確かに近年の数値の傾向と比較しますと、大きく減少しています。特殊要因という観点で見てみますと、昨今の物価上昇に伴いましてまず買い控えということが想定されます。

またコロナ明けということで、家庭内で過ごす時間というのがかなり減少してきているといった行動の変化があったことによるものと推測しています。

今回大きく数値が減少しており、近年の傾向と異なる状況であり、第９次総合計画の目標値と逆転している状況となっておりますが、これが今年度の特別な数値であるのか、また今後継続していく傾向であるのか、単年度だけで見ますと判断が難しいため、次年度以降の数値の推移を見た上で考えてまいりたいと思います。

ごみ減量の取り組みについては従来通り様々な機会を通じて、行ってまいりたいと考えています。

【建設部次長】

第８次総合計画の実績につきましては、委員が言われますとおり１６０件の空き家が６６件に減少したということでございます。

また、第９次総合計画に掲載している１３３件という数字については、本市の空き家等対策計画を改定するにあたり改めて実態調査したところ、先ほどの６６件を含め１３３件の適切に管理されていない空き家があるということを把握いたしました。したがいまして第

９次総合計画につきましてはその数値を記載しています。

【筒井広治委員】
　当日資料８ページのプラスチックの資源再商品化事業について、全国２番目の事例だそうですけども、リサイクルを推進するという視点からもう少しこれを宣伝して誇っていいのではないかと思います。

【環境部長】
　ありがとうございます。かなり先駆的な取組ですので、しっかりとＰＲして参りたいと思います。

【近藤裕己委員】
　「健康であると感じている人の割合」が８３．１％で、目標達成されているということなのですが、人によってどのようになったら健康というのは当然考え方が違うと思うので、定義があった方がよいと感じました。なぜそう思ったかといいますと、ＢＭＩに関する指標を見ますと実績が６５．３％で目標未達成となっています。一方で１日に３０分以上歩く人の割合が６１．３％もあり、すごい数字だと思いますし、基本的には歩くと健康になるのだろうと思っていたので、ＢＭＩに関する指標が全国平均と同じ数値で目標未達成となっている状況がイマイチだなと感じました。備考欄に朝食を抜いてるとか他の要因があるかなと思われるところですので、例えば食育を通じた働きかけですとか、私も参加している健康マイレージなど、市民や企業などと協力して健康につながる仕組みづくりに積極的に取り組んでいただきたいと思いました。
　次に、福祉に関する指標について、３１番や３２番の指標については、この先も変わらず行くことになると思いますので、今後は新たな指標を設定していただくのがよいと思いました。また、空き家に関することですが、調べてみますと令和５年度の１人暮らし高齢者が２５７４人、８０歳以上が１３７９人いるとわかりました。これだけいると明らかに空き家対策が必要になってくると思うので、このような将来的な姿が想像されるものに関しては事前に対策を打っていかないといけないと思います。普段介護に従事しているので感じているのですが、特に高齢者１人となりますと、課題が表面化した段階では遅いと感じています。そうなる前にどうやって市民と行政とのつながりをあらかじめ作っていくかというのを、将来的な計画の中に盛り込まれてくると、すごく良いと思います。素晴らしいことをやっていると思いますので、１人でも多くの方に関心を持っていただいて、参加していただく仕組みづくりをお願いしたいと思いました。

【子育て健康部次長】
　委員にご指摘いただきました指標の定義について、この指標に関する実績値は、２年に１度実施される市民アンケートでお聞きした結果となっております。アンケート内では、健康に関する定義はしておりませんが、ご意見もふまえて調整をしてまいりたいと思います。
　また、ＢＭＩに関する指標の実績について、策定時より悪化している状況でございます。資料に記載もありますとおり、成人の朝食欠食など、食生活の悪化が要因ではないかという分析をしているところであります。健康マイレージの継続的実施や、自分の適性体重を知っていただくこと、適性体重の維持が体の健康につながっていくということを継続して周知啓発して、成果の向上に努めてまいりたいと思います。

【福祉部長】
　ご指摘のありました指標については、もうこれ以上のものは望めないという状況でございます。福祉部で所管する様々な計画もございますので、その中にも入れ込みながら、工夫して取り組んで参りたいと思います。

【建設部次長】
　空き家に関するご意見につきまして、空き家になった際には適切な管理をしていくことや利活用を促していくことが大切だと感じております。一方で、空き家にならないようにしていくことも必要と感じております。そこで、今年度から、納税通知書の裏面に、「空き家になる前から備えていただくこと」を周知啓発しています。今後も広く啓発ができるような形を考えて参りたいと思います。

【寺田覚会長】
　それではご意見も出尽くしたようですので、ただいまの議題１の説明について本審議会としては異議なしとしてよろしいでしょうか。
　（特に意見無し）
　ご異議無いようですので、この内容で了承とさせていただきます。
　以上で議題１、第８次安城市総合計画および第２期安城市まち・ひと・しごと創生総合戦略の最終実績についての議題を終わります

　議題（２）デジタル田園都市国家構想交付金に係る令和５年度実績について

【寺田覚会長】
　それでは、議題（２）デジタル田園都市国家構想交付金に係る令和５年度実績について、事務局より説明をお願いします。

（事務局説明）

【寺田覚会長】
　ありがとうございました。
　ただいま事務局より議題（２）デジタル田園都市国家構想交付金に係る令和５年度実績について説明がありましたが、ご意見、ご質問等ございましたらお願いします。

【鳥居将成委員】
　観光振興事業について、様々な取組をされて、関係人口・交流人口を増やそうという試みだと思いますが、これがどのようにまちにお金が落ちるような試みをされているのか。そのあたりもしお考えあれば教えていただきたいです。

【企画政策課長】
　一例でございますけども、市内周遊観光バスツアー補助事業というものがございます。
　こちらは、どうする家康を活用してバスツアーを組んでいただいたところに補助を出している事業ですが、市内の飲食店で飲食をしていただくこと、安城市内の施設に立ち寄っていただくことを条件にしておりますので、そういった部分で地元に還元できる部分になっていると考えております。

【鳥居将成委員】
　おそらく飲食ですとかツアーであると、使用される金額というのはだいぶ限られるのかと思います。その後、何かもっと踏み込んだことを考えていれば教えてください。

【産業部長】
　委員ご指摘の通り安城市に訪れて、過ごす時間を多く取っていただかないとなかなか観光の中での資源活用や消費には繋がらないであろうというふうに思っております。
　また各市がそれぞれにPRをしてもなかなか届きにくいというところもございます。そこで、現在、愛知県が「発酵食」というものに着目し、日本中ひいては世界中に売り出していこうという戦略をとっております。市内にも発酵食を扱う事業者がありますので、それらの方々と協働しながら、まず、PRを通じて安城市の存在感を示し、さらに、安城市にお越しいただいた方には安城市の発酵食を扱う方と触れ合っていただいたり、購入をしていただいたり、そのようなことができる機会を多く設けていきたいと考えて事業を進めております。

【寺田覚会長】
　それではご意見も出尽くしたようですので、ただいまの議題２の説明について本審議会としては異議なしとしてよろしいでしょうか。
　（特に意見無し）
　ご異議無いようですので、この内容で了承とさせていただきます。
　以上で議題２（２）デジタル田園都市国家構想交付金に係る令和５年度実績について終わります

【寺田覚会長】
　以上で本日の議題は全て終了いたしました。ここで学識経験者の委員から全体を通した講評いただきたいと思います。安田委員お願いいたします。

【安田孝美委員】
　ご丁寧なご説明とそれから委員の皆様方の活発なご意見ありがとうございました。私からは質問ではなく、コメントをさせていただければと思います。
　まず、総合計画につきまして、全体的にかなり成果が上がっているということで皆様のご努力に敬意を表したいと思います。説明の仕方として、詳細な説明をいただきましたが、全体像が見えるような説明があるとより良かったかなと思います。また、それが市民へのアピールにもつながると思いますので、ぜひご検討ください。
　また、議題２に関して、ｅスポーツの事業については、先進的に取り組まれたと思っています。交付金対象期間が令和６年で終了するとのことですが、今後は町内会の方でまた進んでいくとの話がありましたので、ぜひしっかりとフォローいただき、市民の中で継続的にこういったデジタルコンテンツに対するこの前向きな姿勢が育まれるようにしていただければと思います。
　続いて、観光振興事業についてですが、他の委員からの質問でどれぐらい経済効果があるのかというお話がございました。この視点は大変重要だと私も思っておりまして、観光振興にあたっては、データに基づく施策をとっておられる自治体が結構多くあります。今回いろいろな事業を起こされたということは大切なことだと思いますが、安城市の中でこの観光に係る具体的なデータがどう流れているのかという点を継続的に追跡していただければと思います。観光客数やシェアサイクルの利用者数も大事ですが、この数が何を意味しているかという点をもう少し細かく丁寧にフォローされると、観光政策に役立つようなアイディアが出てくるのではと思いました。
　それから、イノベーション創出事業に関しましても、交付金はあくまでもエンジンをかけるスターターでございますので、エンジンがかかった後どのように継続させていくという点がとても大事なところだと思います。昨年度の事業費を拝見いたしますと、委託料であるとか講演会とかフォーラムとなっております。

大事なことはこれらの取組を通じて、市役所の中で何が変わったのかという点であると思います。事業を進めるうえで、市役所の中がイノベーション創出に向けてどのように変わっていくのか、変わっていったのか、変わっていこうとしているのか、このあたりを継続的にご議論いただければというふうに思います。

最後に、デンパークに関する事業について、これは施設整備事業だと思いますが、できましたら新しく作られたハードウェアに対し、どうサービスを上乗せしていくかという点について、せっかく作られた新しいハードでございますので、その上でのサービスアップをぜひ継続的にご検討いただければというふうに思いました。

【寺田覚会長】

ありがとうございました。それでは、事務局にお返しします。

４　その他

【司会】

続きまして次第４その他に移ります。（１）市民アンケート調査の結果についておよび（２）安城市子育て応援サポートブックについて、事務局からご説明いたします。

（事務局説明）

【司会】

ただいまご説明いたしましたその他の部分を含めまして全体を通して何かご意見等ございましたらご発言をお願いいたします。

【筒井広治委員】

市民アンケート結果について、交通の分野について、以前ほかの人とお話をする中で、私は安城市の交通の便はいいという認識で話をしていたら、相手はとても悪いと思っていること言うことで、認識がかなり異なっていることがありました。よく話を聞いていくと、市内だけで移動する場合と市外に移動する場合とで、交通の便が良いか悪いかという認識が変わってくるということでした。アンケートでも市内で移動するときと少し遠方へ出かけるときとか、少しその辺を分けて意見収集しないとうまくこの統計の数字が出てこないんじゃないかなということを私は思いました。

【近藤裕己委員】

市民アンケート調査の回収率について、今回３８．２％と、回収率がすごく悪かったと感じました。市全体の話で、できればたくさん取りたいということがあると思いますので、デジタル化を一層推進して、様々な意見を吸い上げられるよう努めてほしいと思いました。

【司会】

　ありがとうございました。最後に次回総合計画審議会の開催予定について、ご連絡いたします。次回は令和６年１１月１９日に開催予定です。時期が近づきましたら改めてお知らせいたします。以上をもちまして令和６年度第１回安城市総合計画審議会を終了いたします。ありがとうございました。